



品川シルバー大学同窓会

2023年9月21日

第105号

会報

品川シルバー大学同窓会
TEL 080-6634-6797
ssu.dosokai@gmail.com

2023年度 第2回見学会

場 所：国会議事堂（参議院）
日 時：2023年7月27日（木）（3部制）
参加者数：81名



参議院本会議場

国会議事堂参観記

梅雨明けの晴天・酷暑の中、重厚厳格、威風堂々とした、おなじみの国会議事堂。

昭和11年、2.26事件が起きた時代に竣工し、幾多の歴史を刻み今年で87年を迎える。

今回の国会議事堂の見学会は個人では中々行き難いところでもあり、また実際の政治の場に触れるという意義もあり参加しました。

まずは入って直ぐに美しく整備された参観ロビーでは、参議院の活動や役割などの紹介パネルや道具が展示されていました。

その中には、今も重要議案の採決の際に使用する小さな蒲鉾板のような木札の実物があり、賛成が白色票、反対が(緑色の)青色票のどちらかを持参し投票して集計するとか…。けっこうアナログ。

だから牛歩戦術もできるんですね。

参議院の活動や歩みの広報展示が行われていましたが、何か時間が止まっているような印

象でした。

本番の見学ツアーでは衛視さんの案内で、赤い絨毯が切れ目なく続く廊下を通り、順次見学ポイントを巡りました。クラシックで迫力のある劇場のような参議院議場で傍聴席から説明を受けた後、天皇陛下が使われる華麗な内装の御休所、美術館のギャラリーのような御休所前広間など、重厚で落ち着いた空間を体感できました。

途中、各政党の部屋や幹事長室、委員会の会議室などを脇見しながら歩き、なんとなく活動している雰囲気も感じました。

国会議事堂の建築は、国威発揚の時代背景もあり、日本全国から石材や木材を集め、日本という国の総合力を内外に示そうとした狙いもあったようです。

また、全国の都道府県の木が植えられている庭園なども国をまとめようとした設計者の考えかと思いました。

見学の最後は、その庭園の小路を通り参観者出口に、そして国会議事堂の正面を背景に記念撮影。



参議院 参観ロビーにて

改めて、国会議事堂の全体の姿を見返してみると建築に16年もの歳月をかけた威容に感服

しました。あとは、議員諸氏の日々の獅子奮迅に期待するのみです。

最後に企画されたOB会の幹事の皆さまに感謝します。

加藤 和吉 (2017年入会)

ひとこと感想

- ・初めて？ 小学校で見学？ 覚えていません。感激です！！
- ・個人では来られない国会議事堂とても勉強になり見学出来て良かったです。次回は孫を連れて見学したいと思います。
- ・衛視の方が説明、よく理解できた。
- ・国政の場所を見学出来て良かったです。なかなかこういう機会がないと見られない場所なので。
- ・前々から来てみたかった。議事堂の中おごそかな空気感で、政治の中心がここかと感動した。
- ・地下鉄入口からご案内があり助かりました。なかなか来られない所で良かったです。ありがとうございました。
- ・久しぶりの国会見学でした。
- ・初めて訪れましたが、とてもすごい場所でした。政治をもう少し身近に感じたようです。
- ・普段行けない場所ですので、大変有難い企画でした。またよろしくお願い致します。
- ・来館したのは2回目ですが、改めて立派な建造物には感動です。
- ・66年前修学旅行以来の見学をして、日本を代表して議論する場所、改めて感激しました。
- ・小学校の遠足で見学して以来でした。赤いジュウタンはもっと厚かった記憶が。立派な建築でした。
- ・期待してきたわりには、ダラダラとして待ち時間が長く、メリハリがなく、残念な見学会だった。
- ・集合時間の余裕、待合所をもうける等良かった。
- ・真夏の見学会は一考を要します。余りの暑さに参りました。
- ・係の皆様、暑いなか本当にお世話様でした。

有難うございました。

- ・外歩きは涼しい季節に。
- ・次は迎賓館をお願いします。
- ・一人では自分で出かけなくなりましたので、こういう企画は本当に有難いです。
- ・企画としてすばらしい。



国会議事堂正面にて

2023年度 第2回講演会

テーマ：区民プロデュース型講演会

「日本地図の先駆者： 長久保赤水の足跡」(第1回)

講師：長久保赤水顕彰会 会長

佐川 春久 氏

日 時：

2023年 8月15日 (金)

14:00~16:00

場 所：

こみゆにていプラザ八潮

参加者数：62名

(一般区民10名、会員52名)



日本地図の先駆者

長久保赤水の足跡 1回目の講演会を終えてはじめて、2018年の内閣官房との共催事業、特別展示「いったい何者？ 江戸の地図男！ 長久保赤水展」や2019年文化庁の調査、2020年 国の重要文化財指定へのいきさつなどをお話しました。「赤水図に竹島が書かれているのですね？」「世界地図も書いていたのは驚いた」「伊能忠敬は知っていたが長久保赤水は知らなかった」などの声が寄せられた。

日本地図といえば、誰もが伊能忠敬（1745～1818）を思い浮かべるが、伊能図は江戸幕府に秘蔵され、江戸時代の庶民の目に触れることはなかった。これに対して長久保赤水（1717～1801）の『改正日本輿地路程全図』（通称・赤水図）は、江戸時代末期までの約百年間の大ベストセラーとして版を重ねた。

浦賀にペリー艦隊が来た頃も、庶民や幕末の志士たちが見ていたのは赤水図だ。吉田松陰も愛用していた事が、山口の兄への手紙に残されている。さらに伊能忠敬も赤水図を測量時に携帯していた事が測量日記に書かれている。これらの事から明治維新のエネルギーは、この赤水図をもとに醸造されたという見方もできるのである。

伊能図は全国を測量した測量図として有名だが赤水図は多くの情報を収集して比較検証を重ね天文学の知識を地図に取り入れた編集図であり、初の経緯線入りの刊行日本地図である。

このため、2020年9月に、伊能忠敬より42年前に日本地図を作った長久保赤水関係資料693点が、国の重要文化財に指定された。これにより、中学校や高校の教科書にも長久保赤水の日本地図と世界地図が掲載された。

長久保赤水は、日本地図だけでなく、中国地図や世界地図、中国歴史地図帳13枚、朝鮮図も製作した。そして隠居格となった最晩年には、光圀が始めた「大日本史地理志」編纂に従事するよう藩主の特命が下った。10年もの仕事を預けたことは、藩主が赤水を手放したくなかった証ともいえる。その草稿原稿や紀行文、多くの書簡・書籍類も残されている。常陸国赤浜村（現在の茨城県高萩市赤浜）の農民だった赤水は、勉学を重ねて水戸藩第6代藩主徳川治保の侍講（学問の師＝英語訳…フィロソファー＝哲学者の範疇）を務めた。赤水は、藩主に学問を教えるだけでなく、水戸藩への政策提言や天文学者・地理学者・農政学者として、幅広い業績を残した。

赤水が一貫して重要視したのは、使う人の利便性とわかりやすさである。地図では十里を一寸（約3cm）、地名等を記した一文字目がその位置を示し、その一文字が12kmを表している。携行用折り畳みの形状は、地図を手

人が動く事を想定したもので、情報伝達の表現方法と工夫がこの一枚に凝縮されている。現状に相違があると知れば修正を重ね、正しい情報にアップデートする努力を重ねた。一般庶民に広く活用されたこうした背景は、今後評価されてゆくことだろう。

最後に『江戸時代後期の巨星 長久保赤水』を教材として、生い立ちから偉業までを説明した。今回は、『長久保赤水資料群』を教材として配布する。

佐川 春久



赤水図に興味津々

ひとこと感想

- ・「長久保赤水」という人物を知ることができた。今、読んでいた時代小説で水戸藩の事で「赤水」の名がでてきて誰？と思ったが、ちょうど学べて納得できた。
- ・以前、東京新聞で知りましたが、今回の講義で改めて「赤水」の功績を知りました。
- ・「赤水」を全く知らなかったのが大変勉強になりました。R3から教科書になり始めたとのこと、良かったと思います。
- ・全く知らなかった「赤水」の偉大さを知りえた。
- ・「長久保赤水」の事をはじめ知った、楽しかった。資料がすてきで、手元に残るのが又うれしい。
- ・日本地図といえば伊能忠敬と学んで来ましたが、それ以前に地図をつくった人がいた事が驚きでした。
- ・恥ずかしながら良く存じなかった。多くの資料を提供して頂き、大変勉強になり感謝です。
- ・「長久保赤水」さんの名前を初めて聞きましたので参加してみました。

- ・「長久保赤水」の事を全然知らなかったので勉強になりました。
- ・講義はもちろん、地図も拝見できてよかったです。
- ・伊能忠敬より以前に日本地図を作った人がいた事に興味がありました。
- ・伊能忠敬しか知らなく、「赤水」さんの活躍を皆さま方が詳しく調べて下さり、また地図を見させていただき、すごいと思いました。沢山くわしく調べてくださり、びっくりして拝見させていただきました。ありがとうございました。
- ・伊能忠敬の前に「長久保赤水」先生有りを、面白く知りました。
- ・本日は初日、資料が多すぎて、講義内容が散漫になったと思います。
- ・話題に興味を持った。
- ・文明の利器、パソコン・映像機器等使い、見やすくわかりやすく出来ないものか？
- ・「長久保赤水」が何故、日本地図を作る事になったのか、また日本地図をどのように活用したのか分からなかった。
- ・聞き取りにくかったです。(資料があったので、まだ良かったです)



佐川先生おすすめの映画「その先を往け! 日本地図の先駆者 長久保赤水」をスマホでご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=w9d7mvNsXa4&t=1164s>

川柳雑詠

取り敢えず	消去されずに	生きてます	のぼる
パリ切符	男子バスケが	奪い取る	のぼる
久々の	球児の声に	背筋のび	
年深み	出来た友人	絆大	
おしゃべりは	脳トレ最高	ビタミン剤	
百均と	折り合いながら	お買い物	
		ゆみこ	
		きくえ	
		きくえ	
		ゆみこ	
		ゆみこ	

あとがき

今年の夏は、過去126年の中で最も暑い夏だったそうです。明治31年以来です。よく記録に残っていたと感心すると共にエアコンもない時代どんな暑さ対策をしたのか気になりました。こんな記録に残る暑い夏に、「国会議事堂見学」「日本地図の先駆者 長久保赤水の足跡」の講演会に大勢の会員の方にご参加をいただきありがとうございました。しばらく続きそうな暑さを乗り切り、元気で今後の企画へもご参加ください。

(JD)

講演会・見学会のご案内

★A見学会(第3回)

行先 サントリービル武蔵野工場
日時 2023年10月11日(水)

見学時間 第1組 13時15分～15時20分
第2組 14時00分～16時05分

集合場所 JR・京王線分倍河原駅前広場
サントリー送迎バス乗り場

受付時間 第1組 12時55分～13時10分
第2組 13時40分～13時55分

募集人数 各組34名 合計68名
会費 1000円(保険料等)

★B見学会(第4回)

行先 王子神社(飛鳥山公園)旧渋沢庭園
日時 2023年11月17日(金)

見学時間 13時00分～15時30分
集合場所 王子駅北口徒歩1分
音無親水公園

受付時間 13時00分～13時20分
募集人数 80名
会費 1000円(保険料等)

詳細内容・申込み方法

同封のチラシを参照ください。
締切日 2023年9月30日(土)

★今後の行事予定 (詳細は11月号にご案内)

・第4回講演会

予定演題 免疫力で病気を予防し治す!
日時 2023年12月22日(金)

★第5回見学会

行先 谷中七福神めぐりと
日時 2024年1月17日(水)